

はまだ議会だより mini

大津市議会をオンライン視察

現在、議会改革推進特別委員会では、大規模災害や感染症拡大などの非常時においても、議会の役割を果たせるよう議会BCP(業務継続計画)の策定を進めています。4月14日に地方議会で初めて議会BCPを策定した大津市議会をオンライン視察しました。

議会BCPの策定により、災害時における初期対応の高度化が図られ、審議や執行部へのチェックなど議会としての機能維持を図ることが可能となり、結果として市民ニーズを的確に反映した早期の復旧・復興に取り組むことが可能となったようです。

議会で防災グッズを整備し、議会主催の防災訓練の実施や携帯ハンドブックの作成も参考になりました。今後「チーム議会」として浜田市議会BCP策定に向け、さらなる議論を重ねていきます。

(議会改革推進特別委員会)



会派代表質問を廃止

毎年3月定例会議において各会派が行う会派代表質問を令和5年から廃止することにしました。施政方針の内容に対して質問を行うことから、会派間で内容が重複することや質問方法が分かりにくいとの意見も多く寄せられることなどの意見を踏まえ、議会運営委員会で議論し採決した結果、廃止としました。近年、浜田市議会はほとんどの

定例会議で全議員が個人一般質問を行っており、過去には、いち早く通年会期制を導入するなど、常に積極的かつ前向きな姿勢で臨み、議会の活性化に取り組んできました。

今回は議会機能の向上を図るための廃止であり、新たな質問方法も現在検討しています。進化を続ける議会にご期待ください。(議会運営委員会)

議員のつぶやき

“被災した圃場の今”

昨年豪雨で被害を受け、農災として採択された箇所は逐次復旧工事がなされています。復旧が間に合わず、仮あぜを作り、植え付けられたところもあります。収穫の秋以後には復旧工事がなされ、来年には本来の圃場の姿となるでしょう。

(川上幾雄)



議長日誌

5/24 衆議院議長公邸訪問

島根県市議会議長会として細田衆議院議長の公邸を訪問し、細田議長が推進する「特定地域づくり事業協同組合」についてお話を伺いました。今後、過疎が進む浜田市においても、地域課題の解決に向け、引き続き調査研究を行い、執行状況を注視します。



浜田市議会はSDGsを推進しています。